

長野市立保育所の民営化等について

保育家庭支援課

1 民営化について

(1) 民営化の主な経過

平成 15 年度に、三輪保育園、川田保育園及び下氷鉋保育園について保護者に民営化計画を提示し、保護者との話し合いに十分に時間をかけるとともに、丁寧な説明に心がけ、ご理解いただくよう努めてまいりました。

また、保護者の民営化に伴う不安解消、子ども達への民営化による影響が少なくなるよう、市の保育方針や保育園の保育環境の継続を図ることや、1年間の引継ぎ保育を実施し、保育園に勤務する市嘱託保育士が、民営化後も引き続きその保育園で勤務できるように民営化の相手先に要望していくなど、民営化に対する不安の払拭に努めてまいりました。

こうした中で、三輪保育園は、保護者をはじめ関係者のご理解とご協力により、平成 21 年度から社会福祉法人ミツワ会による運営委託が始まり、川田保育園は、学校法人朝陽学園による運営委託を平成 23 年 4 月に開始することを決定しました。

下氷鉋保育園については、保護者からの民営化に対する不安や要望など様々な意見を踏まえ、民営化の時期を平成 25 年 4 月と見直した上でスケジュールを決定し、現在、保護者の皆さんとの話し合いを進めています。

なお、城東保育園については、隣接する社会福祉法人済生会長野保育園へ平成 23 年 4 月に移管統合することを決定し、現在、両園の児童及び保育士合同により、交流保育を実施しています。

(2) 民営化の時期

(定員及び在園児数は、平成 22 年 4 月 1 日現在、管外受託含む)

保育園名	定員	在園児数	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
三輪保育園	80 人	92 人	運営委託 (社会福祉法人ミツワ会)				
川田保育園	85 人	64 人	・選考委員会 ^{注)} 設置	・運営委託先の決定 (学校法人朝陽学園) ・3 者懇談	引継ぎ保育	運営委託	
下氷鉋保育園	95 人	90 人	・保護者と協議	・選考委員会設置	・運営委託先の決定 ・3 者懇談	引継ぎ保育	運営委託
城東保育園	60 人	36 人	・選考委員会設置 ・済生会保育園へ 移管統合決定 ・3 者懇談会	・交流保育 ・3 者懇談	移管統合		

注) 選考委員会・・・長野市立保育園委託・移管先選考委員会(保育園ごとに設置)

(3) 民営化後における市の関わり方

保育の実施に当たっては、児童福祉法第24条において、「市は保育に欠ける児童を保育園において保育しなければならない」と定められており、公立、私立に関わらず市の責務であることから、民営化後の保育園運営が適切に行われるよう指導・監督をしております。特に、委託又は移管条件に沿った保育が行われているか検証するとともに、市保育指導員による保育指針に基づいた定期的な指導・チェックを行います。

更に、公私立保育園合同で保育士研修会を開催するとともに、双方の保育園による保育士交流会も実施し、保育士の資質向上を図ります。

2 統合について

(1) 信更地区

信田・更府両保育園については、平成20年2月に地域の区長会が中心となり、「信更地区保育園問題検討委員会」を設立し、両保育園の方向性について検討を重ね、保育園は地域の子育て基盤の根幹として、統合してでも地域に一つは保育園を残すという決定をいただき、市は、統合の場所を信田保育園、時期を平成23年4月とし、統合した保育園名を地域の皆さんに候補をあげていただき、「信更保育園」と変更することと決定しました。

(2) 戸隠地区

戸隠地区の3保育園（戸隠中央・宝光社・東ノ原）については、合併前から統合が検討されており、市は、合併特例債など有利な起債を活用し、3園を1園に統合することで検討してまいりました。

建設候補地について、平成20年7月に地区区長会を中心とした「戸隠地区保育園統合検討委員会」において、慎重に検討を重ねた結果、旧長野吉田高校戸隠分校跡地（教育委員会所管）に決定いただき、これを受け、市では、現在、平成23年4月の開園を目指し建設工事を進めております。

なお、統合した保育園名は、地域の皆さんに候補をあげていただき、「とがくし保育園」とすることと決定しました。

(3) 豊野地区

豊野地区の「さつき保育園」と「みなみ保育園」の統合については、合併前から検討されており、市は、合併特例債など有利な起債を活用し1園に統合することで検討してまいりました。

建設候補地については、平成20年7月に地区区長会を中心とした「さつき保育園・みなみ保育園統合改築検討委員会」を設置いただき、両園の中間点付近とすることと提案いただき、現在市では、地権者と用地取得交渉をしています。